



教会報

2024 年クリスマス
/2025 年 1 月号

ともに支えあい もう一歩ずつ前へ

クリスマスの思い出

ビジュ キシャケール

日本に来て最初のクリスマスは名古屋の神学院で迎えました。その日はとても寒い日で、ミサが終わって聖堂の外に出ると雪が降り始めていました。故郷インドケーララ州の12月の平均気温は27度、もちろん雪は降りません。初めて見る雪に思わず手を伸ばすと、フワフワの雪はあっという間に溶けてなくなってしまいました。うっすらと積もった雪道に足跡を残しながら歩いたことを今でも昨日のことのよう鮮明に思い出します。

次に迎えたホワイトクリスマスは秋田の土崎教会でした。冬の日課として、聖堂への道をスコップで雪かきし、滑らないようにタワシのようなカーペットを敷きます。クリスマスの日はあまりの大雪に誰も来ないかと思いましたが、ミサの時間近くなると1人2人と集まり始め、全信徒の約40名がほぼ全員揃いました。ミサが終わって銀世界の寒さの中で、お配りしたお菓子を食べ、心は温かいクリスマスでした。



そして昨年、吉祥寺教会で初めての試みとしてベトナム語、タガログ語、英語、日本語による国際ミサを行いました。各国の言葉で先唱、朗読、共同祈願を行い、「全員で一緒に参加」という思いから全ての言語で歌えるクリスマスキャロルを選び、「来たれ友よ」を歌いました。当日、フィリピン、ベトナムの方々には正装で参列され、華やかなそして厳かな国際ミサとなり、日本の方々からもご好評をいただきました。今年も



19時30分は国際ミサといたします。皆で心を1つにしてイエスさまのご降誕をお祝いしましょう。

2024 年 12 月
吉祥寺教会

ボスコ・マニマラ 神父

Dear brothers and sisters, I wish you all God's abundant grace during this Christmas, and all through the New Year of 2025.

Recalling the enriching past memories of celebrating Christmas in Japan, I am reminded time and again that the best way to welcome Child Jesus, is by repenting of our sins and making our hearts pure and humble. Learning from the inspiring faith of people, I am convinced that only when our hearts are pure and humble, we become truly worthy to experience the grace of Jesus. The gospel reading of Christmas midnight mass, taken from the gospel of Luke (2. 1-14) clearly teaches us that the poor shepherds who possessed purity and humility of heart, had the great privilege of meeting the Child Jesus along with Saint Joseph and Mother Mary. Reflecting on this most inspiring reading, I would like share two thoughts with you as follows.



Firstly, as we know, those poor shepherds did not have money or power. Besides, they were not prominent people in society. But their purity and humility of heart, made them the most precious human beings in the eyes of God. Therefore, they met the Child Jesus, along with Saint Joseph and Mother Mary, who are also role-models of purity and humility of heart. Learning from this, let us also pray to God for the grace of purity and humility of heart.

Secondly, about this grace of purity and humility of heart, we hear symbolically in the Gospel reading, (Luke 2. 9-14) from the words of the angel as follows, "The angel said to shepherds, "Listen, I bring you news of great joy... Today in the town of David, a savior has been born to you. He is Christ the Lord... And suddenly, there was a great throng of heavenly host praising God and singing: 'Glory to God in the highest heaven and peace to men of good-will who enjoy God's favor. Hence, it is very clear that the men of good-will are people who are blessed with purity and humility of heart. Such people are really worthy to meet Child Jesus who is our redeemer.

Learning from this gospel reading, let us pray to God for the grace of purity and humility of heart so that we can truly welcome the Child Jesus in our hearts.

親愛なる兄弟姉妹の皆様へ、

2024 年のクリスマスと 2025 年の新しい年が神の恵みに満ち溢れますようお祈り申し上げます。

日本でのクリスマスの思い出を振り返るたび、イエス様を迎える最良の方法は、罪を悔い改め、心を清め謙虚に生きることだと感じています。

ルカによる福音書（2 章 1-14 節）には、心の純粋さと謙虚さを持つ羊飼いたちが、聖ヨセフと聖母マリアと共に幼子イエスに出会う場面が描かれています。彼らはお金や権力を持たず社会的にも目立たない存在でしたが、心の純粋さと謙虚さが神の目において最も価値のあるものとなり、イエスに出会う恵みを得ました。私たちも心を清め、謙虚な心で神に祈りましょう。

また、福音書の天使の言葉にあるように、心の純粋さと謙虚さを持つ人々にこそ真の平和と恵みが与えられます。私たちも心を清め、謙虚な心で幼子イエスをお迎えしましょう。

CHÚT HOÀI NIỆM Tran Nam Phong 神父



Những năm sống và mục vụ trên đất nước Phù tang, hằng năm, những ngày cuối tháng 10, trời se lạnh báo hiệu cho tôi biết lại một Mùa Giáng sinh nữa đang gần đến. Những ngày này, ngoài phố đã được thắp sáng đèn nhấp nháy, những hình ảnh ông già Noel, con nai, những hộp quà trang trí đủ màu sắc. Nhưng các Giáo xứ vẫn im lìm, lặng lẽ như bao ngày.

Những hình ảnh này khác với những gì tôi từng trải ở quê hương Việt nam tôi. Tôi còn nhớ trước Lễ Giáng sinh cả tháng, các Nhà thờ, người người không ai bảo ai, nhưng tất cả đều tập trung tại Nhà thờ chuẩn bị cho Lễ Giáng sinh. Người thì quét dọn, người thì chặt cây trang trí, người thì thu gom các bao xi-măng làm hang đá. Bên cạnh đó, những đèn điện được kiểm tra kỹ và được treo khắp trong và ngoài Nhà thờ. Một tuần trước ngày Đại lễ, tất cả được thắp sáng, người

người, có cả người không phải Công giáo cũng đến Nhà thờ thăm, gặp gỡ, chụp hình kỉ niệm. Trong ngày Đại lễ những hoạt cảnh, các bài hát về Giáng sinh chuẩn bị công phu được trình diễn. Một bầu không khí ấm áp, trời với đất giao hoà, tôi cảm thấy bình an và thư thái không thể quên.

Hình ảnh, bầu khí chuẩn bị và mừng Lễ Giáng sinh ở Nhật bản không được như Việt nam. Nhưng, những năm gần đây, tôi thấy một số Nhà thờ có sự hiện diện người Việt nam đã có những chuẩn bị và trang trí Lễ Giáng sinh giống Việt nam khiến cho tôi lại càng nhớ hơn cái cảm giác tôi từng trải, chuẩn bị và mừng Lễ giáng sinh.

Dẫu biết địa lý, văn hoá Mừng Giáng sinh có khác nhau, nhưng, những biến chuyển, đón nhận cách chuẩn bị, và mừng Giáng sinh ở một số Nhà thờ tại Nhật bản theo cách Việt nam, cũng làm cho tôi ấm lòng với bao kỷ ức đẹp lại ùa về trong tôi.

トラン・ナム・フォン 神父

東京の深まりゆく秋の肌寒さは、クリスマスシーズンが近づいていることを知らせてくれます。街はイルミネーションがきらきらと輝き、ショッピングモールにはサンタさんの衣装や色とりどりのクリスマスの商品や贈り物がたくさん並び、また街角でもトナカイやクリスマスツリーのデコレーションも見られ始めますが、教会はいつも通りに静かで落ち着いた雰囲気のままです。

ベトナムでは、クリスマスの 4 週間ほど前になると、多くの信者が教会に集まり、着々とクリスマスに向けて掃除や教会内外の飾りを始めます。一回頑丈なものを作って何年先も使い続けるのではなく、その年のテーマに合わせて作り、飾りに工夫します。フレームを組み立て、大型の馬小屋を作り、星やイルミネーションで教会の内外を飾ります。子供たちは飾りのお手伝いは出来ませんが、学校に行く途中や帰り道に教会まで走り、大人たちが何を飾ってくれるのかをわくわくしながら見守っていました。

クリスマス直前になり飾りが完成すると、多くの人々、特にカトリック信者でない方も教会を訪れ記念写真を撮ります。日曜学校の子どもたちは、シスターやリーダーの指導の下でクリスマス劇や歌などを夢中で練習しました。教会や町全体はお祝いの雰囲気に包まれていました。

日本の教会のクリスマスの飾りは控えめですが、それが日本の風習や文化に合っていて、多くの人々に愛されているのかもしれない。私はどちらも大好きです。そのうえで、故郷ベトナムでのクリスマスを懐かしく思い出します。

森 智宏 神父

神学生の頃、神学院の院長にクリスマスのミサ前、「クリスマスのいい思い出を教えてほしい」と聞かれ答えられなかったことがありました。私の同級生はクリスマスに骨折したという「良くない」思い出を答えていました。今なら良いクリスマスの思い出を話せるかもしれませんが、最初に思い出したのは、小学生の頃、母親に怒られた思い出です。クリスマス当日の朝、ミサに行きたくない駄々をこねて、結局ミサに与ることができなくなったことがありました。寒い上に教会までが遠かったことと、遊んでいる周りの友達が羨ましかったことで駄々をこねた結果、ミサの代わりに小一時間説教されました。その時「自分がしたいことだけではなくて、しなければいけないことを考えなさい」と言われたことを覚えています。

今年も一番に思い出したのがこの出来事でしたが、自分がしたいことではなく、周りのために何をすべきかを考えるクリスマスを過ごすことができればと思います。



幼子イエスの祝日を祝うタガログ語ミサにて

ゴー・ヴァン・ラム 神学生

世界のどこにいても、クリスマスはいつも人々に喜びと幸せをもたらしてくれるものである。今年、私は日本で 3 回目のクリスマスを迎えるが、今回は司牧のためにこちらに居ることもあり、特別な意味を持っている。教会の皆様からの温かい歓迎と愛が、クリスマスのぬくもりを伝えてくれ、寒さを和らげてくれている。

昨年のクリスマス进行を思い出す。私はザビエルの神学生たちとともに吉祥寺教会を訪れた。その日は朝のミサに参加した後、主任司祭のビジュ神父様の案内で幼子イエスのいる馬小屋へと導かれた。そのとき、私は不思議なほど懐かしさを覚え、まるでベトナムでクリスマスを迎えていた日々に戻ったかのようであった。そこでは毎年クリスマスになると皆で馬小屋を飾りイエスのご降誕を祝っていたものである。

初めて日本でクリスマスを過ごした際には、プレゼントを用意し合う中で思いがけない喜びを感じた。クリスマス前には、贈り物を望む人が願いを書き、くじ引きで小さなプレゼントを交換し合う。その贈り物は小さくても、クリスマスの時期には大きな喜びと愛を運んでくれるのである。

しかし、最も心に響いたのは、幼子イエスを迎える準備の瞬間である。キャンドルのきらめく光、響き渡る聖歌、そして皆で飾った素朴な馬小屋—そのすべてが神を待ち望む希望と信仰に満ちている。準備のひとつひとつに、私は静けさ、信仰、そして幼子イエスが来られる日を待つ敬虔な気持ちを感じたのである。今年のクリスマスは、吉祥寺教会の皆様とともに心を整え、神聖で温かな雰囲気の中、幼子イエスを迎えることに喜びを感じている。



聖ウルスラ修道会 Sr. 中村敬子

クリスマスの思い出を聞かれると、一番心に残っていることは、私の「洗礼式」がクリスマスの真夜中のミサ中で行われたことです。通常「洗礼式」はご復活の典礼で行われることが最もふさわしいことですが、その時私は短期大学の 2 年生、3 月には東京の会社に就職が決まっていたので、神父様は洗礼を早めてくださったのではないのでしょうか。雪の降る寒い真夜中のクリスマスの洗礼はとても厳かで、イエス様は私のところにお出でくださったという実感でした。

現在はどこの教会でもクリスマスミサは早めの時間に設定され、大勢の方が参加されやすくなりました。それはそれでよいこととイエス様も喜んでのことでしょう。イエス様の到来を心から喜びその救いの神秘を感謝したいと思います。クリスマスおめでとうございます。



聖ウルスラ修道会 Sr. 石井清美



以前、吉祥寺の修道院に住んでいた時に、教会のクリスマスのお祝いの余興に今は管区長になられたディンド神父様とダンスをしたことがあります。吉祥寺に異動してきて初めてのクリスマスでした。何かの話の流れでダンスをしよう！ということになり、ダンスレッスンの DVD を見ながら 2 人で練習したのですが、何しろ私は確かに踊るのは好きだったとはいえ社交ダンスはズブの素人。ステップは適当、ターンも自己流。しかもそれはリズムが早く。足を踏んだり、引っ張ったり引っ張られたり、右に行くのに左に行ったりと、そのたびにおなかを抱えて笑い転げ、涙を流して完成させたものでした。クリスマス会当日は、無事にダンスをご披露し、共にお祝いにあずかった方々と楽しく幸せなひと時を共有することができました。救い主イエス様の御誕生を祈りのうちに祝い、その喜び、平安、希望を人々に伝える伝え方は様々です。さて、今年のクリスマスは何をもってそれを伝えましょうか。

純心聖母会 Sr. 佐藤ヒロ子

「きよしこの夜 星はひかり・・・」幼いころから何か心の奥をゆっくりとした温かく幸せな思いにさせてくれた讃美歌。私は、戦後まもなく再開された宇都宮松が峰カトリックの幼稚園に通った時から、クリスマスを祝い、この聖歌を歌いながら幼子イエス様の厩にひざまずいていたのでしょう。が、残念ながら、そのはっきりした記憶

がありません。10 年の経過後に、マリアの宣教者フランシスコ会経営の宇都宮海星女子学園に入学してから、毎朝の聖歌や聖書を読むことで幼児体験がよみがえってきたのです。大きく思えた聖書物語の掛け絵や聖歌が日増しに実体化してきて、心を整理しようと担任のメールに質問にいったことから公教要理と洗礼にまで導いていただきました。この学びから本当の意味で、「み言葉が、肉となって、私たちのうちにお生まれになった。」クリスマスの奥儀を理解したのです。高校時代の降誕祭やローソク行列・クリスマスの集いの感動的な思い出は修道者になってからも懐かしく、教師時代には、生徒たちにもぜひ同様の思い出と感動をと、毎年聖劇やクリスマス会を企画し、奮闘した若かりし頃が忘れ難い思い出です。



教会委員長 守重英子

主のご生誕おめでとうございます。子供のころ、クリスマス前夜祭のミサは夜半に行われミサ後は夜遅くまで教会で神父様、信徒の方と楽しい時間を過ごしたことを覚えています。

当吉祥寺教会でも、2019 年のクリスマスまでは、立ってミサに与る方がいらっしゃるほど満席でしたが、コロナ渦で一変してしまいました。公開ミサが中止になったり、予約制になったり、人数制限が設けられたり、オンライン中継したりもしました。今まで当たり前だと思っていた主のご生誕を皆でお祝いすることができないことに、とまどい、やるせなさを経験しました。あの四年間があったからこそ、昨年やっと事前予約制ではありましたが皆でキャロルを歌いクリスマスミサが行えること、与れることの喜びが大きくなりました。今年はずいに、事前予約もなし、マスクなどの制約もないクリスマスとなります。五年の間に国際ミサも定着し、新しいオルガンとともに二階席を使用再開するなど「共に支え合いもう一步ずつ前へ」進んでこられましたことは有難く嬉しいことでした。今年また、皆様と一緒に主のご生誕をお祝いできることに心から感謝しています。



2024. 10. 20

後藤文雄神父様からのご挨拶

ご体調が不確かでお約束できないということでお知らせできませんでしたが、12 月 15 日、後藤神父様が教会にお越しになり、聖堂で信徒の皆様にご自身のご自身の状況についてお話されました。その後、外で信徒の皆様との交流を楽しみました。長時間のお話が難しいとのことで、信徒の皆様へお気持ちを込めたお手紙をいただきました。



2024. 12. 15

吉祥寺教会信徒の皆さま

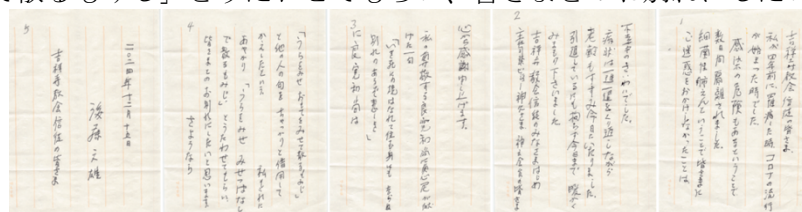
私が四年前に罹病した時、コロナの流行が始まった時でした。感染の危険もあるということで、数日間隔離されました。細菌性肺炎ということで皆さまにご迷惑をおかけしなかったことは、不幸中のさいわいでした。病状は一進一退をくり返ししながら老齢もすすみ今日にいたりしました。引退しているにも拘らず今日まで、暖かくみまもり下さいました吉祥寺教会の信徒のみなさまはじめ主任司祭ビジュ神父さま、神言会員の皆さまに心から感謝申し上げます。

私の尊敬する良寛和尚に貞心尼が献げた一句「いき死にの境はなれて住む身にも 去らぬ別れのあるぞ悲しき」に良寛和尚は、「うらをみせ おもてをみせて散るもみじ」と他の人の句をちゃっかりと借用してかえしたという。私もこれにあやかり「うらをみせ みせっぱなしで散るもみじ」とうたわせてもらい、皆さまとお別れにしたいと思います。 さようなら

二〇二四年十二月十五日

後藤文雄

吉祥寺教会信徒の皆さま



待降節黙想会が行われました

12 月 15 日、松本勝男前主任司祭のご指導のもと、「すべての人に御言葉を - 神言修道会 (神言会) 創立 150 周年および吉祥寺教会小教区認可 75 周年に寄せて -」をテーマに待降節黙想会が行われました。最初に、「困難があっても、異国の言葉でも、御言葉を伝えたい」というザビエルやヤンセンら宣教の先駆者たちの道のりと熱い思いについて語られました。続いて、福音『たとえ全世界を手に入れても自分のいのちを失ったら何の益があるでしょうか』に基づいて、私たちが御言葉に従い神の国と永遠の命を大切にすることの重要性を説かれ、自分の生き方を問いかけるよう呼びかけがありました。さらに、『畑に隠された宝』と『高価な真珠』(マタイ 13:44-46) の中で、宝と真珠が神の国を表しそれを探すのが人間なのか、宝と真珠が人間で探すのは神なのかという問いがあり、かけがえのない「宝」でイエス様の誕生を迎えることができますように、そして、神のために働くこと、全ての人に御言葉を伝えることはイエス様の生き方を日々の生活の中で証しすることですと結ばれました。



吉祥寺教会のアルバム

信徒親睦バザー 12.1



残った古書は、宗教書を扱う施設に寄贈しました



聖堂2Fへの階段に
手すりがつきました



大掃除 12.7



0422 市民クリスマス
12.14



日曜学校クリスマス会
12.15



2024年12月

聖年が始まります

2025 年の聖年は、2024 年 12 月 24 日にバチカンの聖ペトロ大聖堂の聖なる扉が開くことで開始します。教皇フランシスコは大勅書「希望は欺かない」で、「希望」が 2025 年の聖年のテーマであることを発表されました。1 月 11 日のミサから聖年の祈りを唱えましょう。

新成人祝福式：1 月 19 日（日）9 時～

皆で大切な節目を迎える新成人の門出をお祝いしましょう。

次回の教会報 2025 年新年/2 月号は、2025 年 1 月 25 日発行予定です。

帰天された方々 0

今月の予定 年末年始の予定は 8 ページをご確認ください。

主日のミサ		平日のミサ	
土曜日 17 時		火～金曜日 6 時 45 分	
日曜日 9 時、10 時 30 分（第 5 週：国際ミサ）		第 1 金曜日 初金ミサ・聖体賛美式：10 時 30 分	
15 時 外国語ミサ 第 1 週：英語、		第 3 月曜日 聖霊に捧げるミサ：6 時 45 分	
第 2 週：ベトナム語			
第 3 週：タガログ語		*ゆるしの秘跡：主日ミサ開始 20 分前～（小聖堂）	

吉祥寺教会勉強会のご案内 変更の可能性があります。メール/HP をご確認ください

勉強会内容	日 時	担 当
聖書入門 1 共観福音書に親しむ 1/4:休	第 1 土曜日 14 時～15 時	フォン神父
英語で聖書を読み、黙想する 1/5:休	第 1 日曜日 14 時～14 時 45 分	ボスコ神父
聖書入門 2 書簡と初代教会について学ぶ 1/11:休	第 2 土曜日 14 時～15 時	森神父
洗礼後のフォローアップ勉強会	第 3 土曜日 14 時～15 時	ビジュ神父
主日の福音の勉強と分かち合い 12/28, 1/4, 11:休	毎週土曜日 15 時 30 分～16 時 30 分	説教担当者
2025 年復活祭に受洗を決心した方のための講座	1 月：第 3, 第 4 日曜日 11 時 30 分	司祭団

事務室受付時間 火 水 金曜日 9 時 30 分～17 時 土曜日 10 時～17 時 日曜日 8 時 30 分～15 時 30 分 売店販売時間 土曜日 13 時～17 時 日曜日 9 時～15 時	ご奉仕のお願い 第 2 日曜日：庭の整備と草むしり：3 月までお休み 第 4 日曜日：聖堂お掃除 司祭団による病者訪問 第 2 第 3 第 4 金曜日 お問い合わせは、教会事務室へお願いします。
---	---

2025 聖年

せいねん いの

聖年の祈り

天の父よ、あなたは、わたしたちの兄弟、御子イエスにおいて信仰を与え、聖霊によってわたしたちの心に愛の炎を燃え上らせてくださいました。この信仰と愛によって、神の国の訪れを待ち望む、祝福に満ちた希望が、わたしたちのうちに呼び覚まされますように。

あなたの恵みによって、わたしたちが、福音の種をたゆまず育てる者へと変えられますように。この種によって、新しい天と新しい地への確かな期待をもって、人類とすべてのものが豊かに成長していきますように。そのとき、恵みの力は打ち払われ、あなたの栄光が永遠に光り輝きます。

聖年の恵みによって、希望の巡礼者であるわたしたちのうちに、天の宝へのあこがれが呼び覚まされ、あがない主の喜びと平和が全世界に行き渡りますように。永遠にほめたえられる神であるあなたに、栄光と賛美が世々としえにありますように。アーメン。

（カトリック吉祥寺教会 敬啓）

Franciscus

菊地功枢機卿 誕生

12 月 7 日、バチカン聖ペトロ大聖堂での枢機卿親任式及び祝賀ミサに参列しました。今回、菊地枢機卿様の他に神言会からもう一人、セルビアのネメット枢機卿様が任命されました。神言会創立 150 周年を迎える節目の年に、神言会から 2 名が枢機卿に任命されたことは大きな喜びです。このたびの任命に感謝し、新枢機卿が神様の御意志のもとに私たちを導いてくださることを祈りましょう。 ビジュ キシャケール



枢機卿親任後、フランシスコ会本部
においてのミサ(12.9)



神言会総本部で、菊地枢機卿、ネメット枢機卿を囲んで
副総長をはじめ神言会一同が集まりました

年末年始のミサ

- ・ 12/28(土) 17 時、29(日) 9 時、10 時 30 分：聖家族のミサ
 - ・ 12/31(火)～3(金)の朝のミサは 6 時 45 分ではなく、10 時 30 分になります。
 - ・ 1/1(水) 10 時 30 分：神の母聖マリアのミサ
 - ・ 1/3(金) 10 時 30 分：初金ミサ及び聖体賛美式
- * 事務室のお休み期間は、12/26(木)～1/4(土)です。なお、12/29(日)は終日、1/1(水)は午前のみ開けています。

カトリック吉祥寺教会 教会報

〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山 1-7-8 TEL 0422-44-0181/FAX 0422-44-0180

URL <https://svdtokyo.jp/>

教会維持献金振替口座：郵便振替口座番号 00120-1-106084 カトリック吉祥寺教会

